HP 掲示用
第 1 版　2022 年 3 月 16 日 版

患者さんへ

「TomoTherapy を用いた乳房 IMRT における位置変動に対する堅牢性評価に関する研究」について

神戸低侵襲がん医療センター（以下、当院と致します）放射線治療科では、TomoTherapy を用いた乳房 IMRT（強度変調放射線治療）における位置変動に対する堅牢性評価について研究をしております。この研究は、診断や治療のために既に取得された放射線治療関連データ、電子カルテの臨床情報を使用するものであり、新規に患者さんへお願いする事はありません。この調査研究についてご質問等がございましたら、この文書の最後に記載しております「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

【研究概要】

本研究の目的は乳がんに対する強度変調放射線治療(IMRT)について、放射線治療情報関連データおよび臨床情報の解析によって治療の安全性を評価すること、および解析結果に基づき乳房 IMRT 治療計画の質的向上を実現することです。

そこで本研究では TomoTherapy を用いた乳房 IMRT について、様々な治療計画法の堅牢性を評価し、最適な治療計画法を検討したいと考えております。

本研究は治療を受けるにあたって必然的に取得されるデータを調査、解析するものであり、新規に患者さんにお願いすることはありません。

【取り扱うデータ】

本研究では、当院にて乳がんに対する放射線治療を行った患者さんから診断や治療のために取得した放射線治療関連データ（画像、治療計画、治療時のログデータ）と電子カルテ上の臨床データ（治療効果や副作用に関する情報）を抽出し、解析致します。

【個人情報保護の方法】

個人情報、データなどは外部ネットワークから遮断された院内端末で取り扱い、正確かつ検証が可能なように記録・保管致します。登録された患者さんの同定や照会は、登録時に定められた症例登録番号を用いて実施し、患者名などの第三者が直接患者を識別できる情報が本試験のデータベースに登録されることはありません。データの統計解析に際しては個人情報を含まない数値データのみを抽出して解析対象と致します。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・　本研究により対象患者さん個人には特に利益と考えられることはございませんが、本研究の成果により、今後本治療を受ける患者さんがより安全性の高い治療方針の決定を受けることができる可能性があります。

不利益・・・　一連の治療の中で必然的に得られる情報のみを解析するものであるため、特に不利益と考えられるものはございません。

【研究参加の取り止めについて】

いつでも可能です。参加を辞退されたい場合には、下記の「問い合わせ窓口」までご連絡ください。

HP 掲示用
第 1 版　2022 年 3 月 16 日 版

【研究責任医師（又は研究責任者)】

神戸低侵襲がん医療センター　　放射線治療科　医学物理士　沖　裕也

【問い合わせ窓口】

神戸低侵襲がん医療センター　　放射線治療科　医学物理士　沖　裕也
連絡先：078-304-4100